



平成22年3月25日(木)

国際業務体制の変更および新国際勘定系システムの導入について

株式会社トマト銀行(取締役社長 中川 隆進)では、お客さまの利便性を維持しつつ、営業店の実態に合った国際業務の効率化による、一層の経営資源の有効活用を図るため、平成22年4月1日(木)より国際サービス店の一部外貨両替店への変更など国際業務体制の変更を行うとともに、平成22年5月6日(木)より新たな国際勘定系システムを導入いたしますのでお知らせいたします。

なお、このたびの業務体制の変更後も、お客さまには従来どおりのサービスをご利用いただけます。

記

1 「国際業務体制の変更」概要

実施日 平成22年4月1日(木)より

	変更前	変更後
国際サービス店	総合 4カ店 本店営業部 倉敷支店 神戸支店 大阪支店 特定 5カ店 奉還町 西大寺 岡山南営業部 津山 児島	総合 4カ店(変更なし) 本店営業部 倉敷支店 神戸支店 大阪支店 5カ店とも外貨両替店に変更
外貨両替店	18カ店 大供 片上 和気 新見 高梁 総社 水島 玉島 玉野 笠岡 中山下 野田 中島 原尾島 青江 岡山駅前 竜操 岡山県庁	12カ店 奉還町 西大寺 岡山南営業部 津山 児島 片上 総社 水島 玉島 中山下 野田 岡山駅前
取次店	31カ店	42カ店
合計	58カ店	58カ店

(注)下線表示の店舗が、外貨両替店から取次店に変更となります。



2 新国際勘定系システムの概要

(1)稼働開始日 平成22年5月6日(木)

(2)採用システム NTTデータジェトロニクス株式会社提供 国際勘定系システム
「Advanced Architecture Solution : 通称 ^{アズ}A2S」

(3)新システムの特徴

①システムリスクへの対策強化

本システムはクラスター構成※となっており、システム負荷を分散することにより、障害発生時には業務を中断することなく、システム運営を継続することができます。

※クラスター構成とは、複数のコンピューターを一群(または複数群)にまとめて、処理能力の向上、システム停止のリスク軽減などを図る仕組みです。

②ペーパーレス化による環境配慮

社内帳票などの紙を電子化することにより、環境に配慮したペーパーレス化を促進するとともに、本部・営業店における帳票管理事務が大幅に効率化されます。

以上

お問い合わせ先	市場金融部 張田 TEL 086-221-1342
---------	------------------------------